

# 高円宮杯JFAU-15サッカーリーグ2022埼玉 クラブリーグ

## 【 大会実施要項 】

1. 趣 旨 日本下次を担うクラブユース年代の少年達(U-15)のサッカーの技術の向上と健全な心身の育成を図り、長期的な視野に立ち各加盟クラブの更なる発展・進歩を目的とし、高円宮杯JFA第32回全日本U-15サッカー選手権大会埼玉県予選に出場するチームを決定する。
2. 主 催 (公財)埼玉県サッカー協会
3. 主 管 埼玉県クラブユースサッカー連盟
4. 協 賛 朝日新聞「埼玉少年少女スポーツ」 株式会社モルテン  
サッカーエイドさいたま
5. 協 力 埼玉新聞社
6. 試合日程 2022年2月～10月

### リーグMD

MD①	2022年2月12日(土)	MD⑦	4月23日(土)	MD⑬	9月10日(土)
MD②	2月19日(土)	MD⑧	5月14日(土)	MD⑭	10月10日(祝)
MD③	3月5日(土)	MD⑨	5月21日(土)		
MD④	3月12日(土)	MD⑩	6月11日(土)		
MD⑤	3月19日(土)	MD⑪	6月18日(土)		
MD⑥	4月9日(土)	MD⑫	9月3日(土)		

### リーグMD 予備日

2月23日(祝)	5月7日(土)	7月18日(祝)
3月20日(日)	5月8日(日)	9月17日(土)
3月21日(祝)	5月28日(土)	9月24日(土)
4月16日(土)	6月25日(土)	10月16日(日)
4月29日(祝)	7月2日(土)	10月22日(土)

※上記MD及び予備日以外の他の公式戦日程も他公式戦の試合が行われない場合は、本大会のMD及び予備日としてリーグ日程消化に努めるものとする。

※リーグ戦前期(1巡目)グループAは7月18日(祝)までに終了することを目標に試合消化をしていく。

※リーグ戦前期(1巡目)グループBは6月25日(土)までに終了することを目標に試合消化をしていく。

※リーグ戦後期(2巡目)グループAは10月22日(土)に終了することを目標に試合消化をしていく。

※リーグ戦後期(2巡目)グループBは10月22日(土)に終了することを目標に試合消化をしていく。

【高円宮杯県大会出場リーグ】グループB対象

7月2日(土)・9日(土)・10日(日)・16日(土)・18日(祝)のうち3日間

【2部参入戦プレーオフ】

12月3日(土)

7. 会 場 埼玉県内各地

8. 参加資格 (公財)日本サッカー協会に第3種加盟登録し、なおかつ日本クラブユースサッカー連盟・関東クラブユースサッカー連盟・埼玉県クラブユースサッカー連盟に加盟するチーム及び埼玉県クラブユースサッカー連盟に認められたチームであって次の条件を満たすものに限る。

①参加選手は、他のクラブチーム及び中学校サッカー部に二重登録されていないこと。

②参加選手は、2007年4月2日以降に生まれた者とする。

③参加選手は、3月までのMDは2021年度(公財)日本サッカー協会の写真付登録証で確認を行い、

4月以降のMDは2022年度(公財)日本サッカー協会の写真付登録証を携帯していること。

また、電子登録証(写真が登録されたもの)が確認できる場合は出場を認める。

④参加するチームには令和4年1月13日(木)までに参加申込を済ませ、1月15日(土)までに15名以上の選手が所属していること。

なお、期限内に参加申し込みを済ませて新年度(2022年4月)になり上記を満たしている、4月9日から試合が行えるチームは4月からのリーグ参戦を認める。その場合は2月11日(土)のMD1前日までに競技委員長に連絡をする。

総会により加盟が認められた新規加盟クラブについては、上記を満たしている場合は総会後からのリーグ参戦を認める。

その際は要項に定められたリーグへの参戦になる。

⑤(公財)日本サッカー協会により「クラブ申請」を承認された「クラブ」に所属するチームについては、同一クラブ内の別チームに所属する選手を移籍手続きすることなく本大会に参加させる事が出来る。

この場合、同一クラブ内のチームであれば、複数のチームから選手を参加させる事も可能とする。

なお、本項適用対象となる選手の年齢は第4種年代とし、第3種及びそれ以外の年代の選手は適用対象外とする。

但し、第3種年代の選手の大会エントリー登録人数が11名以上いることとし、第4種年代の選手の場合は

メンバー表に5名以内の記載、試合出場は2名以内とする。また、先発選手に4種年代の選手が2名いる場合は

その他の4種年代選手は記載できない。

⑥MD①から高円宮杯代表決定トーナメント最終日までの期間に他のチームに移籍した選手は、移籍先の

チームでは1巡目のリーグ戦と高円宮杯代表決定戦には出場できない。リーグ戦2巡目から

出場可とする。中体連からの移籍も高円宮杯予選に参加した選手は同様の措置とする。

⑦大会に使用するために会場を提供できるチームであること。

## 9. 大会方式

<クラブリーグA> 前年度の結果を反映したチームで構成

①4ブロックの2回戦総当たりリーグを行う。

②各ブロック2位までの8チームは県リーグ2部参入戦出場権を得る。

(試合はU-14年代で行う) また、参入戦プレーオフの権利を放棄した場合、クラブリーグA残留の最上位チームが権利を得る。県リーグ2部参入戦勝者は次年度の県リーグ2部に昇格する。

③リーグの結果により次年度のリーグ編成が決定する。

a) 次年度の編成については、県リーグ2部からの降格チーム、県2部参入戦敗退チーム、各ブロックの上位から合わせて

最大32チームにてクラブリーグAを構成する。32チームを超えた順位についてはクラブリーグBへの降格とする。

b) クラブリーグA各ブロック同順位のランク付けはリーグ戦での①勝点②得失点差③総得点④F Pとする。

全てが並んだ場合は抽選とする。

<クラブリーグB> 前年度リーグ所属チーム及び4月から参戦、リーグ戦新規出場クラブ、新規加盟クラブにて構成

①3ブロックの2回戦総当たりリーグを行う。

②各ブロックの1位チームは来年度クラブリーグAに昇格する。

③各ブロック2位、3位チームはリーグ戦終了後に同順位でリーグ戦を行い、順位によりグループAへの昇格の可能性がある。(昇降格数による)

④リーグ戦の結果は次年度のリーグ編成に反映される。

<高円宮杯>

①各ブロックで、1回戦総当たりリーグを行う。

②クラブリーグAの各ブロック上位2チーム(計8チーム)は県大会出場権を得る。

③クラブリーグB各1位チームは代表決定リーグを行い、1チームが県大会出場権を得る。

## 10. 競技方法

①ルールは、2021年度/2022年度(公財)日本サッカー協会競技規則による。

②試合時間は、70分(35-10-35)とする。

③競技時間内に勝敗が決まらない場合は、引き分けとする。

④リーグ戦における順位は、次の通りとする。

(1) 勝ち3点・引き分け1点・負け0点とし、勝ち点の合計により順位を決める。

(2) 勝ち点と同じ場合は、得失点差・総得点・F Pで順位を決める。

(3) すべてのポイントが同じ場合は、抽選とする。

⑤高円宮代表決定リーグについては次の通りとする。

(1) 試合時間は、70分(35-10-35)とする。

(2) 競技時間内に勝敗が決まらない場合、引き分けとする。

(3) 順位については上記④と同様とする。

⑥事前に配布した指定用紙(25名登録、役員5名)を複写してメンバー表とし、先発選手を記して試合開始時刻60分前までに試合管理者に3部提出する。

交代選手は11名以内とする。外国籍選手の場合は出場3名以内とする。

メンバー表には必要事項以外記入しないこととし、背番号のない選手及びベンチ入りしない選手は

削除すること。但し、「クラブ申請」を適用するクラブは試合前に提出するメンバー表・選手証と

ともに、クラブ申請承認番号の記載されているクラブ申請回答書(コピー可)も合わせて提出する。

⑦警告

(1) クラブリーグAでの異なる試合で3回の警告が出された場合は、自動的に今大会次の1試合に出場できない。

(2) クラブリーグBでの異なる試合で3回の警告が出された場合は、自動的に今大会次の1試合に出場できない。

この措置は、高円宮杯代表決定戦、県リーグ参入戦に持ち越される場合もある。

(3) チーム役員においても同様とする。

⑧出場停止

(1) 試合中に退場、もしくは同一試合中に2度の警告を受け退場処分を命ぜられた選手、チーム役員は、自動的に今大会の次の1試合に出場できない。その後の処置については、規律委員会にて決定する。

(他の大会に持ち越される場合もある。)

(2) 警告累積は、本大会で終了し以降の大会に持ち越さない。但し、この措置は次の大会に持ち越される場合もある。(試合中に退場処分が出された場合)

⑨試合中にチーム役員がベンチに1人もいなくなった場合(選手怪我対応時を除く)、試合はその時点で終了とする。試合結果等はその後理事会、規律委員会にて協議し、決定する。

⑩大会参加申込みは、1月13日(木)までに所定の方法で申し込みを行う。

⑪原則として試合開始時刻に試合を開始できないチームは、その1試合に限り不戦敗とする。リーグ戦の場合は、(0-3)の不戦敗とし、その後の処置について規律委員会にて協議し決定する。

⑫試合開始時刻の60分前に会場本部において行うユニホームチェックはカラー写真でも可とする。

⑬試合当日の気候により、各試合会場責任者と当該試合審判団の協議の上、飲水タイムを設けることがある。

⑭ベンチ入りできる人数は、試合当日にて登録された役員5名、選手25名以内とする。

尚、上記30名以外はピッチレベルに入ることはできない。

⑮会場責任者は、大会結果報告書を大会担当・広報委員長、各ブロック担当者に、警告退場者報告書を大会担当・各ブロック担当者にメールにて報告し、それぞれの報告は試合当日の19時までに原則として行うこと。

大会結果報告書・各試合記録・メンバー表・審判報告書は大会担当、高山氏に試合の翌日迄に投函

すること。なお、担当する会場での試合中に退場者(警告2枚での退場も含む)及び退席者があった場合

には、審判報告書(重要事項も含む)を大会担当、競技委員長、高山氏に試合当日の19時までに

原則としてメール送信すること。

速報メールは試合終了後に必ず送ること。送信先 scy-sokuho@googlegroups.com

⑯各マッチデーに学校行事等で止むを得ず試合が行えない場合(11名揃わない場合)は該当するマッチデーの

1カ月前までに各ブロック担当者に連絡をし、延期を申し出たチームが延期申し出から20日以内に

対戦相手に確認、了承を得たうえで延期開催日をマッチメイクしてブロック担当への報告をする。

尚、不正の延期を防ぐため試合当日に11名揃わない理由と証拠となる名簿等の書類を延期を申し出た際に

大会担当及びブロック担当に提出する。

⑰天候不良等、不測の事態で競技が中断した時は、その中断した状態から再開する。

その際は、大会担当へ必ず報告する。

- 1 1. 審 判
- ①主審は原則として3級以上とし、副審・第4の審判員(有資格者)は指定チームの帯同審判員が行う。
  - ②高円宮杯県大会出場代表決定リーグは連盟より派遣審判員で行う。
- 1 2. ユニホーム
- ①ユニホーム及び選手の用具については以下に定める。
    - (1)ユニホームは正・副2着用を意する。
    - (2)ユニホームのシャツの前面・背面に必ず番号をつける。大きさは前面が縦10cm程度、背面が縦25cm程度、それぞれ横はそれに比例して適当な大きさで、番号は見やすいものとする。
    - (3)ユニホームのデザインが異なっても主たる色が同系色であれば着用することができる。
    - (4)ゴールキーパのショーツ、ソックスはフィールドプレイヤーと同系色でもよい。
    - (5)主審は対戦するチームのユニホームの色彩が類似しており判断が難しい場合は、両チーム立会いの上、判別しやすい組み合わせを決定する。
    - (6)アンダーシャツ、ショーツ、タイツの色は問わない。但し、原則としてチーム内で同色のものを着用する。
    - (7)ソックスにテープまたはその他の素材のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
- 1 3. そ の 他
- (1)試合球は各チーム持ち寄りとする。ボールはモルテン社製Vantaggioとする。その際、天然芝、人工芝の場合はtarf用、クレーの場合はHG用を使用する。
  - (2)控え選手・ベンチ入り役員がビデオ撮影を行う際、ベンチ横の会場責任者から指定されたエリアでの撮影を許可する。ベンチ横以外の場所で撮影を行う際は会場責任者より指定された場所で当日の登録選手外の選手、役員が行う。登録選手、役員がベンチ横以外で撮影する場合は再びベンチには戻れない。撮影機器を不適切に使用した場合は退席とする。
  - (3)大会期間中に棄権チームが出た場合は、その試合結果は全て棄権チームの不戦敗(0-3)とする。棄権チームとの試合で生じた警告及び退場は有効とする。
  - (4)各チームは「公式戦開催におけるガイドライン」を順守の上、感染症予防に努めること。
  - (5)本大会要項に規定されていない事項については理事会において協議の上決定する。新型コロナウイルス感染症関連の事項が発生した場合も同様とする。